

財形住宅貯蓄

| 商 品 | 取扱機関 | 商品の概要 |
|---------------------------------|---|--|
| ①期日指定定期 ②スーパー定期5年 10年 | 都銀、労金、地銀、信金、 農・漁協 都銀、労金、地銀、 信託銀行、都銀の一部、 地銀の一部 | ①毎回の積立では3年定期となり、満期時には利子が元加されて自動継続 ②毎回の積立では5年、10年のスーパー定期、満期時には利子が元加されて自動継続 |
| 金銭信託 | 信託銀行 (りそな銀行を含む) | 毎回の積立では金銭信託で運用、収益金は元本に組み入れられ満期なしの自動延長型 |
| 利付金融債 | 長期信用銀行 | 財形専用の利付債を共同購入、半年ごとの収益は自動的に元本に組み入れられるエンドレス型 |
| ①公社債投資信託 ②国債・社債 ③財形株式投資信託 | 証券会社で 取扱いを分割 公社債投信取扱会社の うち5社 | ①積立金を公社債投信で運用 分配金は自動的に再投資 ②積立金で国債購入。1万円になると社債に切り替える組合せ方式もある ③積立金の一部を東証株価指数に連動させる株式投信で運用 |
| 積立保険 | 生命保険会社 | 災害死亡保障のある保険の保険料として払い込む |
| 積立傷害保険 | 損害保険会社 | 傷害による死亡保障のある保険の保険料として払い込む |
| ①定額郵便貯金 ②貯蓄保険 | 郵政公社 郵政公社 | ①毎回の積立では10年満期の定額郵便貯で運用、満期時には利子が元加されて自動継続 ②災害死亡保障(満期保険金の2倍)のある保険の保険料として払い込む |

商品比較一覧

(平成16年4月19日現在)

| 金 利 | 現行金利水準 | 非課税限度 |
|---|--|--|
| ①1年複利で3年後に元加される。3年間は固定金利 ②半年複利で5年、10年後に元加される。5年間、10年間は固定金利 | 1年 0.03% 2年 0.05% 5年 0.10% 10年 0.20% | 元利合計 550万円 (年金と合算) ※550万円を超えても課税で取扱う |
| 半年複利で元加、その時の金利で運用される変動金利 | 金銭信託 0.02% | 元利合計 550万円 (年金と合算) 上記※と同じ扱い |
| 半年複利で元加、その時の金利で運用される変動金利 | 0.1% | 元利合計 550万円 (年金と合算) 上記※と同じ扱い |
| ①公社債の市場価格に連動 ②購入時の金利が満期まで固定 ③株式市場の動向を反映する | 実績配当 国債 1.464% 社債 適格債なし 株投 0.05%+ 実績配当 | 元利合計 550万円 (年金と合算) 上記※と同じ扱い |
| 運用実績を反映した予定利率で増えるほか、2年目から配当金加わる | 予定利率 1.5% | 払込限度 550万円 (年金と合算) 非課税でのみ取扱い |
| 運用実績を反映した予定利率で増えるほか配当金加わる | 予定利率 1.5% | 払込限度 550万円 (年金と合算) 非課税でのみ取扱い |
| ①預入期間が長くなるほど金利は高い ②運用実績を反映した予定利率で増える | 0.13~0.16% 予定利率 1.5% | 払込限度 550万円 (年金と合算) 非課税でのみ取扱い |

資料出所：財形ビジネスコミュニケーションネット「明解ポケット財形」平成16年版